

# 『サガエさんにきいてみよう』をもとに

サガエさん  
佐賀枝 夏文

# 保護者への対応 ①

## 一般的な相談と相談援助の違い

### 一般的な相談

- ①受け手が、解決策を懸命に考える
- ②受け手が、具体的なアドバイスを示す
- ③できるだけ、権威的な態度で信頼を得る
- ④指示に従うよう促す
- ⑤指示に従うと、問題が解決することを強調する
- ⑥アドバイスを主に、あまりふり返らない

# 保護者への対応 ②

## 一般的な相談と相談援助の相談の違い 相談援助

- ①受け手は、主訴に耳を傾け、ニーズを聞く
- ②何度もアセスメントをして、くり返し訴えを聞く
- ③受け手は、活用できる情報を提供する
- ④提供する情報は、偏らないように提供する
- ⑤提供した情報は、相談者本人の自己決定を優先する
- ⑥情報提供したことに賛同を得れば、具体化への道筋をつける
- ⑦実施したことが妥当であったかモニター（点検）
- ⑧実施したことをエバリュエーション（評価）
- ⑨終われば、その後ターミネーション（見守る）

# Q保護者とのかかわり(10頁)

## 保護者と保育者の意見の違い

- ①立場の違い
- ②対立し衝突し、お互いが譲らない
- ③保育を成立するためには
- ④相談援助の「聞き方」に立ち戻る
- ⑤自分の主張を置いておいて、まず、「聞く」
- ⑥お互いが融けなければ通じ合えない

# Q園では落ち着きがなく乱暴で困っています(18頁)

お家では手がかからないのに、園では乱暴で困っています

- ①お家では手がかからないのに、園生活では違う様子
- ②園児さんの姿について、保護者と保育者が違う
- ③保育者は園での状態だけを伝えたい
- ④相談援助の「聞き方」に戻って聞いてみる
- ⑤保護者の「真意」を聞いてみる
- ⑥保育者は膠着を回避してみる
- ⑦関係を調整し直す

# 保護者と接するとき、大切にしたいこと

## バイステックの7つの原則

### 相談するひとの気持ち

- 原則の1 個別化して欲しい
- 原則の2 感情の表出したい
- 原則の3 情緒的な関与して欲しい
- 原則の4 受容して欲しい
- 原則の5 非審判的であって欲しい
- 原則の6 自己決定すること
- 原則の7 秘密保持して欲しい

# Qママ友のことで・・・(96頁)

ママ友同士の子育て感覚のちがい

- ①バイステックの原則を思い出してください
- ②保育者が聞き手の場合、聞き手としていてください
- ③同調すれば、クラス運営が難しくなります
- ④審判しない、受容する
- ⑤個別であっていい

# 均一化と個別化

均一は標準的なことと考えられます。個別は均一でも標準でもありません。他と比較できないものと考えてもいいでしょう。

# Q言葉の遅れなどが目立ちはじめました

言葉の遅れが気になります

- ①言葉が遅れに気持ちが行きやすいですが、発達は全体として発達します。
- ②言葉は表現の一部です。
- ③表現されている「こころ」「主張」を汲み取りましょう
- ④標準的に均一に考えない
- ⑤その子の「あゆみ」として見ましょう。

# Q5歳の男の子のことなのですが（10頁）

「引っ込み思案」「自信がない」

- ① 5歳になったから、みんなのように元気で遊んでほしい
- ② お子さんの資質や気質ですから
- ③ 自分の世界が居心地いいのかも
- ④ 競争社会でやっていけるか
- ⑤ お子さんの持ち味を育てるのがいいのでは
- ⑥ 叱咤激励して自分を責めるようなことは

# こころはセンサー

保育者の資質で大切なこととして「先生たちの感覚」は、その場を感じることであり、言葉ではなく、感じれるひとであることです。

# Qわが子の泣き声が・・・(54頁)

## 園児さんの泣き声

- ①保育者、保護者にとってつらいものです。
- ②泣き声は訴える表現ですから当然です
- ③親だから、保育者だから受け止めなければというのは違います
- ④泣き止めなければと考えるのは違います
- ⑤泣き声はつらいと受け止めること
- ⑥何が出来るか考える

# 話題にしてみても

- ① 「つなぐ」「むすぶ」保育
- ② 発達障害
- ③ セルフ・ケア
- ④ 保育で大切にしたいこと
- ⑤ 「サガエさんにきいてみよう」
- ⑥ 語り合いたいこと